沿線地域の観光活性化





○新東名(伊勢原大山IC~新秦野IC)の開通により、沿線地域の観光地へのアク セス性が向上し、観光活性化に寄与します。東京駅から秦野市に直通する高 速バスの試験運行が開始されるなど、観光客の増加が期待されます。

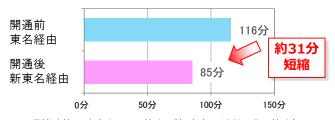
■新東名沿線地域の観光地へのアクセス性が向上



※令和2年神奈川県入込観光客調査報告書を参考に主要観光地点・主要観光施設を記載

■観光地への所要時間が短縮

<所要時間(東京駅~県立秦野戸川公園)>



※混雑時旅行速度を用いて算出 (新東名は100km/hで算出) 出典: 平成27年度全国道路·街路交通情勢調査

≪自治体の声≫



県立秦野戸川公園は、丹沢の自然を活用し た広域公園です。新東名の整備により各方 面からの誘客による地域経済の活性化を期 待しています。

≪観光施設の声≫



秦野丹沢SICが県立秦野戸川公園の近くにで きることから、現在よりも広範囲から観光に訪 れていただくことが期待されます。

より多くの方に秦野市の魅力を知ってもらえる と嬉しいです。

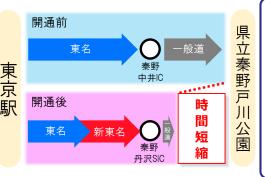
出典:2021年12月ヒアリング調査結果

高速バス「秦野丹沢登山号」が試験運行開始(2021年9月11日~)

東京駅と県立秦野戸川公園を直通で 結ぶ高速バスの試験運行を開始



画像出典:ジェイアールバス関東株式会社



≪バス会社の声≫

丹沢連山は年間約80万人の登山者が 訪れる登山の聖地です。これまでは、鉄 道および路線バスの乗換が必要でしたが 本路線では、乗換不要であり、速達性・ 利便性・快適性向上が期待されます。



主に週末に運行しており、特に 土曜日の東京発便は多くの 登山者にご利用いただいてい

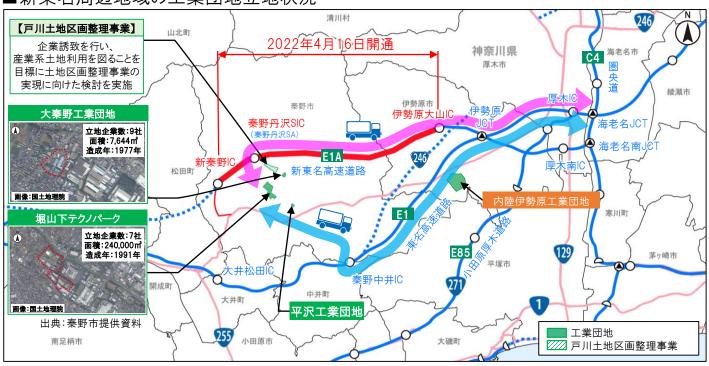
出典: 2021年12月ヒアリング調査結果

物流効率化による生産性向上と企業立地の促進



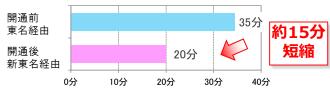
- 〇新東名(伊勢原大山IC〜新秦野IC)の開通により、周辺の工業団地から都心方面への所要時間が短縮され、生産性向上が期待されます。
- ○開通区間の周辺地域では、更なる企業立地を見据え、土地区画整理事業の 検討が進んでいます。

■新東名周辺地域の工業団地立地状況



■工業団地からの所要時間が短縮

<大秦野工業団地入口~海老名JCT>



<堀山下テクノパーク入口~海老名JCT>



※混雑時旅行速度を用いて算出 (新東名は100km/hで算出) 出典:平成27年度全国道路・街路交通情勢調査

≪沿線企業の声≫



製品を北関東方面に出荷する際に、 秦野市内の市街地を通過することなく 移動できるため、時間短縮に期待して います。

出典:2022年1月ヒアリング調査結果

「戸川土地区画整理事業」の概要

▶組合土地区画整理事業による産業系まちづくりを目指し、 現在は事業計画案の作成等を実施中。



出典:秦野市提供資料、地理院地図

伊勢原JCT~伊勢原大山IC(2020年3月7日開通) 周辺に立地する『内陸伊勢原工業団地』での声



ICへのアクセスが良くなったことで企業からの 問合せが多く寄せられています。



出荷の際に伊勢原大山ICを利用することで北 関東・都心方面への時間が短縮しドライバーの 負荷軽減に寄与しています。

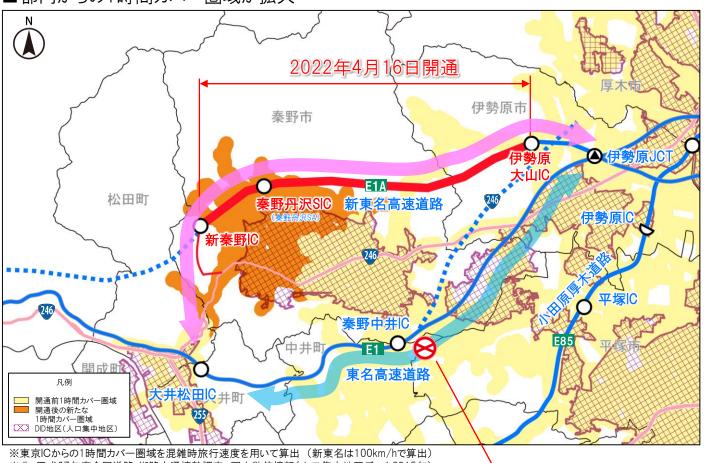
出典:2022年1月ヒアリング結果

IC周辺のアクセス性向上とリダンダンシーの確保



- 〇新東名(伊勢原大山IC~新秦野IC)の開通により、IC周辺のアクセス性が向上 し、都内から秦野市周辺への1時間カバー圏域が、人口が集中する地域で拡 大します。
- 〇また、東名(伊勢原JCT~大井松田IC)、国道246号並行区間の通行止め時 の代替路として機能することで、リダンダンシーの確保が期待されます。

■都内からの1時間カバー圏域が拡大



出典:平成27年度全国道路:街路交通情勢調査、国土数値情報(人口集中地区デ

≪都内からの1時間カバー人口割合(秦野市)≫ 20% 80% 100% 60% カバー人口が 開通前 55% 約1.5倍に増加 55% 30% 85% 開通後

【新東名がある場合】 代替ルートとして機能し、円滑な交通を確保



≪沿線住民の声≫



秦野市在住50代女性

今までは東名のICまでに時間がかかってい ましたが、開通により新東名のICが近くなる ため都心に出るのが楽になります。



東名が事故等で通行止めとなった場合には、周辺の 道路に交通があふれて身動きが取れない状況でした。 新東名の開通により東名高速が通行止めの際にも移 動ができるようになると期待しています。

秦野市在住50代男性

出典:2022年1月ヒアリング調査結果

【参考】新東名高速道路のこれまでの歩み



- 〇新東名は、海老名南JCT〜豊田東JCTの約253kmを結ぶ高速道路で、伊勢原大山IC〜新秦野ICの開通により、全体の約9割となる約228kmが開通します。
- ○御殿場JCT以西のダブルネットワーク形成により、東西交通を分断する通行止めや工事渋滞が減少しており、また御殿場JCT〜浜松いなさJCTは6車線になるなど、ネットワークの信頼性が向上しています。



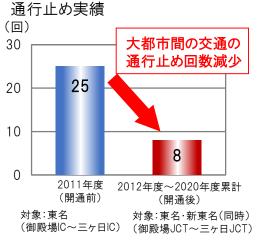
■新東名の開通に関する出来事

2012年	御殿場JCT〜浜松いなさJCTが開通
2016年	浜松いなさJCT~豊田東JCTが開通
2018年	海老名南JCT~厚木南ICが開通
2019年	厚木南IC~伊勢原JCTが開通
2020年	伊勢原JCT〜伊勢原大山ICが開通 御殿場JCT〜浜松いなさJCTが6車線化、最高速度が120km/h/こ
2021年	新御殿場IC〜御殿場JCTが開通
2022年	伊勢原大山IC〜新秦野ICが開通



御殿場JCT〜浜松いなさJCTが6車線化 (写真:新清水IC付近)

■東名・新東名における東西交通の



■東名集中工事時の渋滞状況(日平均渋滞量)



※2 2010年度と2011年度の平均と2012年度から2020年度の平均の比較 (2019年度の集中工事は夜間のみ実施)

【参考】新東名高速道路の全線開通に向けて ~さらに安全・快適な道路へ~



- ○東名の大井松田IC〜御殿場IC間は山岳地帯を通過するため、急なカーブや勾配が連続しています。カーブや勾配が緩やかな新東名が全線開通することで、安全で快適な走行が確保されます。
- ○新東名は、デジタルテクノロジーをはじめとする最先端の技術の導入により、 お客さまにより安全で快適なサービスを提供し、地域の活性化と暮らしの向上、 ひいては日本全体の発展に貢献することを目指します。



■東名・新東名における道路構造の違い



新東名】

【東名】

急な勾配

【新東名】



緩やかな勾配

≪新東名利用者の声≫

転勤で上京しており、新東名ができる までは東名を使って大阪まで帰省し ていました。新東名は新しく、 とても走りやすい道で、

それ以降は新東名で 帰省しています。

出典:2021年12月アンケート調査結果

【高速道路の進化に向けた取り組み】

緩やかなカーブ

i-MOVEMENTの取り組みとして 自動事象検知によるリアルタイムでの情報提供を検討







図 全線常時監視・リアルタイムでの事象把握と対応イメージ

【自動運転時代に向けた取り組み】 新東名建設中区間において

路車協調実証実験を実施予定 道路管 車両から 情報を収集 路側機 後方車両への 情報を収集 路側機 発生事を 発生事を 中面へ情報提供 路車間通信

